



あいさつ

けやき会会長 棚木誠

(70年卒中国文化)

けやき会は1991年の創立以来、4半世紀の歴史を刻んできました。この間、各分野で活躍する約900人の同窓生のネットワークを強化するため、年1回の同窓会総会の開催や会報発行、ホームページでの様々な情報発信、各専攻や各期などのミニ同窓会への支援、などの活動を進めてきました。卒業生と在学生の結び

つきを強めるために、教養学部とも協力して、教育支援金の寄贈などを通じた研究・就職支援にも積極的に取り組んできました。国立大学予算の経年的な削減、人文・社会系学部見直し論など、大学と学部への逆風が強まる中で、よりよい研究・教育環境を守る上で、同窓会が果たす役割は一層大きくなっています。

2013年度からは教養学部のご協力を得て、卒業生と在学生を結ぶ学びの場として、教養学部の講義の中に、けやき会の寄附講座「経済事情——グローバル時代のキャリア形成」(2単位取得)の授業を開講しています。寄付講座は3年目を迎え、教養学部生だけでなく、経済・教育学部生も加え受講生が100名を超えるまでになっています。授業では、国内外で幅広く活躍する同窓生の方々に、グローバル化最前線で蓄積

第15号

した貴重な経験と見識を在学生たちに還元していただいている。2014年度には、待望の教養学部同窓会(けやき会)の「けやき会名簿(第3版)」を発行いたしました。今後ともこの名簿が、新会員の方々を含めた同窓生の皆様のネットワークの基礎になると共に、新たな感動や懐旧の情などを提供することができます。

旧文理学部の改組によって創設された教養学部は2015年度に50周年を迎えた半世紀の歩みの中で、教養学部が社会的な声望を高めることができたのは、学部の教職員の方々の尽力と同窓生の皆さまの努力の賜物と深く感謝いたします。社会的価値観が多様化し、物事の本質を真摯に探究するリベラルアーツ的重要性が一段高まる中で、今後とも学部とご協力して、学びの場としての教養学部の環境づくりに一層尽力していくたいと思います。

大学教員の本務たる教育

教養学部長あいさつ

市橋秀夫先生



めさせていただきます市橋です。同窓会のみなさまに、変わらぬ熱いご支援をおいてください、心よりお礼申し上げます。

大型の補助金を交付され事業が昨年度で終了し、教養学部にとって本年度はいろんな意味で新たな取り組みをスタートさせていく年になります。

大きなニュースとしましては、入試方法の変更があります。本年度より、推薦入試枠として30名を受け入れます。これは、多様な能力や特性を持つた学生を受け入れ、流動化の激しい社会でより創造的な人材を育成していくという、日本の国立大学に課せられた使命に応えるものです。面接などを主とした入試には、ペーパー試験と異なるさまざまな課題がありますので、それをクリアできるよう準備しているところです。

2017年度けやき会総会・講演会のお知らせ

日時 6月24日(土) 1時半 場所 埼玉県立近代美術館

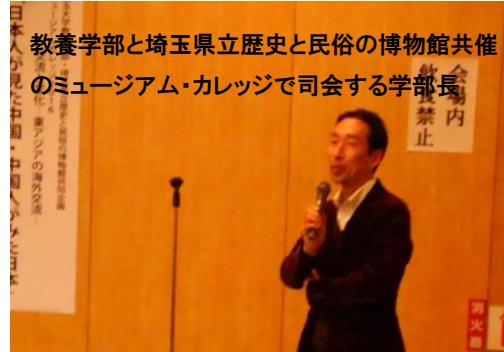
講演 梶島邦江 埼玉大学名誉教授

演題「埼玉の魅力を探して」市民公開

総会 午後3時半

懇親会 午後4時~午後6時 会費 5000円 2次会あり

1



けをしつつ、対応していくことになります。

教育では、現在の専修専攻体制に代わる、あるいはそれを補強することのできる、よりフレキシブルで効果のあるカリキュラム体系を提供できるしくみを模索することが課題となっています。多様でありつつ深い専門知を自ら学ぶことでの研究におきましては、より高い質の達成に向けた取り組みを行なつていかなくなりません。うれしいことに、昨年度は卒業生で妖怪研究の第一人者として知られる文化人類学の小松和彦先生（国際日本文化研究センター所長）が、文化功労者となられ本学のフェローにも就任されました。小松先生には研究成果の発信の重要性などご助言いたしておりますが、その前提としまして、刊行される論文や著書の数を増やしたり、科研費などの外部資金の獲得も進めなければなりません。こうした評価指標の是非にはさまざま議論がござりますが、私たちの研究にプラスに働くような位置づ

けをしつつ、対応していくことになります。

教育では、現在の専修専攻体制に代わる、あるいはそれを補強することのできる、よりフレキシブルで効果のあるカリキュラム体系を提供できるしくみを模索することが課題となっています。多様でありつつ深い専門知を自ら学ぶことでの研究におきましては、より高い質の達成に向けた取り組みを行なつていかなくなりません。うれしいことに、昨年度は卒業生で妖怪研究の第一人者として知られる文化人類学の小松和彦先生（国際日本文化研究センター所長）が、文化功労者となられ本学のフェローにも就任されました。小松先生には研究成果の発信の重要性などご助言いたしておりますが、その前提としまして、刊行される論文や著書の数を増やしたり、科研費などの外部資金の獲得も進めなければなりません。こうした評価指標の是非にはさまざま議論がござりますが、私たちの研究にプラスに働くような位置づ

けをしつつ、対応していくことになります。

教育では、現在の専修専攻体制に代わる、あるいはそれを補強することのできる、よりフレキシブルで効果のあるカリキュラム体系を提供できるしくみを模索することが課題となっています。多様でありつつ深い専門知を自ら学ぶことでの研究におきましては、より高い質の達成に向けた取り組みを行なつていかなくなりません。うれしいことに、昨年度は卒業生で妖怪研究の第一人者として知られる文化人類学の小松和彦先生（国際日本文化研究センター所長）が、文化功労者となられ本学のフェローにも就任されました。小松先生には研究成果の発信の重要性などご助言いたしておりますが、その前提としまして、刊行される論文や著書の数を増やしたり、科研費などの外部資金の獲得も進めなければなりません。こうした評価指標の是非にはさまざま議論がござりますが、私たちの研究にプラスに働くような位置づ

転退職する 先生から

高木英至先生

（社会心理学）

変わってきた大学

退職する教員の挨拶の原稿依頼を頂いた。私はこの3月をもつて定年退職する。埼玉大学（教養学部）に着任したのは1983年である。東京ディズニーランドが開園した年である。そして、退職にあたって拝見した人事記録によると、34年（1983年）在職したことになる。そういわれると随分と長く勤めていたものだと思う。

この間、世の中も大学も在職したことになる。そういわれると随分と長く勤めていたものだと思う。34年（1983年）在職したことになる。そういわれると随分と長く勤めていたものだと思う。

この間、世の中も大学も私自身もいろんな変化を経た。この文章を目にする卒業生の方は、埼玉大学を訪れてみれば大学の外観も変わったと感じるだろう。大学内の建物の基本的な配置は変わらない。しかし多少の新築、増築がある上に改修をしているので、全般に大学の外観は以前よりも良くなつたと思う。ただ緑は削減された。桜の木が林立していた場所は今は駐輪場になっている。経済学部棟の近くの林も薄くなつたようになる。大学の周囲も多少は変わった。私が着任したころは、大学の周囲には田畠が多くみられた。今はほとんどない。かつてのデニーズや不

二家のレストランは今はない。デニーズがあつた場所には今は丸亀製麺がある。ひところ、郵便局の近くにレッド・ロブスターがあつたのだけれど、その場所は低価格のサイゼリアに変わった。ただ正門前のBe-PLANTは、以前同様に盛況である。Be-PLANTに行つて、当時のビーブラッドやカレーを食べながら、『北斗の拳』や『魁、男塾』を読んでいたことを思い出す。

以前、Be-PLANTの店は2階のフロアを使つていたところですが、今は1階部分で営業している。埼大近くのマルエツは今も昔と変わらない。なぜか名前がウオエツ（魚悦）に変わった。

卒業生の皆さんとは教育の仕事の中で接してきた。私は過ぎた方々が学生として私の目の前におられたことには感謝するしかない。

この教育という面でもその間に大きな変化があった。講義のやり方でいうと、私が着任したころは、自分なりに講義ノートを作つて、その講義ノートだけで授業をやつていた。講義ノートに従つて要点を黒板に書いた。書くことが多かつた。書くことが多かつた。

たせいか、私の上着には白いチヨークの跡が多かつたことを思い出す。しかし手元のハードディスクで確認できる限りで、私は1995年には講義のレジュメをワープロソフトで作るようになつた。その時点で黒板はほとんど使わなくなつたといつてよい。その後はくらいままでには、講義のレジュメもワープロポイントに置き換わつた。2010年代に入つてからは、追加で板書するところも、iPadの手書きソフトをプロジェクトで映し出すようになつた。

以前、レポートは紙で出してもらつていて、紙にもタで映し出すようになつた。以前、レポートは紙で出してもらつていて、紙にもタで映し出すようになつた。

この10年間ではレポートは全てファイルで集めていた。当初はメールでレポートのファイルを送つてもらつていた。が、2012年にはネットを介した授業システムであるWebClassが大学で導入された。レポートファイルはWebClassで受講者にアップロードする方式をとつたので、レポートの受領も容易になり、正確な提出時間の記録も残せるようになった。また、学生の



されるものでしようか。詳しいきさつは（恐いので）尋ねなかつたのですが、豪腕で一步も引かない西村先生は教養学部教授会を説き伏せたようです。上述の処女作が『ヘルメスとシリュラのイコノロジー』という、ルネサンスの思想と美術の関係を扱つた研究であつたことが功を奏したのかもしれません。いずれにせよ、私はあわてて、美術史学会と美学会に入会したのです。

それ以来、外山紀久子さんを3人目の同僚に迎え、西村先生が東大に転出後は、

です。紙面上の写真は、学生の要望に応えて、2年前にヴェネツィアのアカデミア美術館を案内したときのものです。カーニヴァルの最中だったので、街は人々で溢れていましたが、美術館はご覧のとおり閑散として、ジョルジョーネの『テンペスタ』も独り占め状態でした。

この5年間は管理職に就いていたために、学生の皆さんや同僚の先生方に迷惑をかけてきました。かつては、三峯山スピリチュアルツアーや「ミレーを見れ!」山梨県立美術館ツアー、「モエレ沼公園」現地集合札幌ツアー、などアクティヴに活動していたのが夢のようです。紙面上の写真は、学

(無謀にも)「ジヤズの歴史」を講義したことありました。

後任の井口壽乃先生とともに、楽しく芸術論コース（専攻）で学生・院生と接してきました。授業の内容も学生のリクエストにしばしば応じました。イタリア語も何年か教えましたし、古典ヘブライ語の授業を行つたこともあります。キー・ボーダーを教室内に持ち込んで、

仁科弘之先生

(理論言語学・人工知能)

これが2つ目の縁でした。その講師3年目に入り、埼玉大教養部の公募を見つけました。親のこともあり関東に戻りたいと思い、応募しました。昭和57年の初めのとある土曜日に、面接試験に呼び出されました。

旧教養部棟（今の研究機構棟）5階、エレベータよりの北側の会議室で面接試

大学院を中退して初めて赴任した大学は山形大でした。共通一次テスト（今センターテスト）が始まった、その正に1979年でした。山形大では、それこそ必死で、半分学生のようで、その様に勤めました。埼玉大文理学部を卒業された先生が採用の音頭を取ってくれたのです。

三つの縁(えにし)

パートに戻りました。駅弁の御利益にすがりながら、ややあって、電話がきました。電話越しに事務長の声が「埼玉大学教養部です、学部長にかわります。」と言いい、すぐさま、「教養部長ですか、あなたを助教授として採用します。」という声が聞こえました。「有難うございました！いや、講師で十分です。有り難うございまし

学など、専門こそ違います
が、才気煥発な若手の先生
が集まつていました。それ
ではと、白板に書きながら
好き勝手にしゃべりました。
いきなり、「お子さんはいま
すか。」という専門外の質問
も出ましたが、それにも答
えました。とにかく上気し
た気分で山形の2DKのア
パートに戻りました。駅弁

駿を受けました。山形から来るのにはまだ特急を使つていきました。駅弁にもこだわりカツ丼とかを探したのですが、代わりに確か、だるま弁当を買い込みました。東北新幹線が大宮まで開通した年でした。「君はモンタギュー文法というものをやつてているそุดだから、説明してみて下さい。」そこには英語史・辞書学、シェークスピア学、英文学、比較文

教養部は自由闊達な場所でした。理系は毎晩研究室にこもり頻々と（しかし短い？）論文を書く。文系はあまり学校に来ないし、論文数も少ないが、それでも長い論文を書くこともある。翻訳書も著書も出版する。そんなことを互いに認め合い、皆が独立独歩の姿勢を保っていました。私は、当時から理工系教官にアレルギーはなく、何人かの先生に親しくしていただいています。対岸の教養学部には

大の先生方を見送りに行きました（残念ながら私は下戸でした）。その春、ちょうど卒業して東京の大学院を受験しに行くESSでの教え子と一緒に特急で関東に戻つてきました。

た。」と言いました。その後、勤務地の山形大に、教養部の学部長、英語科の先生がたが私を「もらない受け？」するため仁義を切り？に来てくれました。その晩は山形大の関係者と酒宴になつた、いやそれはわからないです、そのようでした。私もその翌朝、雪の降り積もつたホームに、（賄賂に相当しない小ぶり）の地酒の土産をもつて埼

旧制山高出身の先生もおられて、やはり親切にしていました。教養学部のもう一人の先生は私が駿台で教わった先生の一人でした。夏期講習の文法講義でその先生からは、受験勉強よりもむしろ、「変形文法」という秘術の呪文のような言葉を教わりました。奇しくも、これを私はモンタギュー意味論と共にその後研究することになります。これが3つ目の縁でした。

埼大生の中には某予備校の癖が抜けずに講義ノート表紙に「師」と書く人もいました。教育学部には酒を飲むと GI 英語を使う怪しい！英語教育史の先生もおられました。

それらのなかなかに個性的な教養学部、教育学部で英語学も学内非常勤として担当するようになつていました。ある教官の送別会の席で、物理学の先生だった学部長が隣になり控え目に言われました。「仁科君、あのおのように大きな大学に出て行くのも、それはそれでいいことだが、ここにじっくり腰を据えて研究することもまた良いことです。」学部長が、「ここの中

生をじっくり育て、そして自分の研究を完成させることがよいことです。」と言いましたが、埼大は既に到達したたげなのはすぐにわかりました。

そして、ややあって教養部が廃止になり、私は教養学部に来ました。経済学部、教育学部に行つた先生がたもおられました。そのときは、あんなに当たらなかつた科研費が当たるようになつたことです。「学」の分野同士の研究者達が集まつていました。年が経つごとに少しずつ楽になつてゆきました。

教養学部に居続ける（居直る？）かわりに、それなりの努力はしました。学生諸君を嫌いになつたことは一度もありません。ある程度は育て上げたと自負しています。こうして、私は教養部長の言葉を守りました。

埼大に着任したのは1994年でしたが、23年になつたことです。「学」の分野同士の研究者達が集まりました。バスが校門直後の停車場に停まつた後、さうに奥まで入つて行くのを見ついた恩恵があつたのでした。教養学部には酒を飲むと GI 英語を使う怪しい！英語教育史の先生もおられました。

五湖周辺の工業集積地に経済を活性化させた一方で、五大湖周辺の工業集積地に打撃を与え資源配分を歪めた可能性について地域産業連関表を用いて実証的に分析を行いました。その成果は Wassily Leontief 教授（1973年ノーベル経済学賞）を通じて New York Times で2度に亘つて紹介され、アメリカで大きな反響を呼びました。今のトランプ現象を見るとその当時のことを彷彿とさせます。

埼玉大学に移籍してから皆さんの伴走をできたことは、私にとって大きな喜びであり、生き甲斐でもありました。

埼玉大学へ来る前までは、民間の研究所に勤務しておらず、経済理論を実際の経済現象に適用する実証分析が中心でした。通商白書の作成をサポートしたり、産官



埼玉大学の16年間

永田雅啓先生

(国際政治学)

「大きくなくともきらりと光る大学」という目的に埼大を訪れています。時は、埼玉大は既に到達したともと信じます。学生の皆さんと教職員の皆さんに心よりお札を申し上げます。

1980年代後半に行つたアメリカの地域経済と貿易の関係に関する研究では、レーガン政権下での軍事支出の拡大がアメリカの両岸城県までタクシーで帰宅することもしばしばでした。

フィールドとした地域プロジェクトである。「大久保プロジェクト」(2004年)～(2008年)は、大学が立地する桜区大久保に、「ホーミタウン」と呼べるだけの知識と経験を積み重ねること、地域の資源を市民と共に確認すること、地域に直に触れる愉快さを共に味わうこと、などをを目指して、まち歩きを開催したり桜区PRを作成してきた。同時に、博物館や民間企業(舟和)と大学とが、どうしたらうまく連携・協働できるのかも検討した。

2007年から現在まで続く「サッカープロジェクト」は、2つのJリーグチームを擁する『サッカーのまち』さいたまの魅力を見出し、伝えることを目途に、サッカーがいかに埼玉の地に根付き、広がったのか。市民生活にどのようなドラマをもたらし、新しい人のつながりを生みだしたのか等を検証・情報発信していくものであった。展示会4回、シンポジウムを2回開催し、「埼玉サッカー100周年記念展示図録」も発刊した。浦和レッズと大宮アーバンディレジヤの観戦者調査

もほぼ毎年実施しており、ここ10年間の観戦者変容は研究室の棚に並んだ調査票を見るととても良く分かる。「秩父・立沢プロジェクト」（2006年～2012年）は、限界集落・皆野町立沢地区で増え続ける耕作放棄地を、なんとか防ぐことはできないか、との思いから始めたものである。高齢のために野菜を作つても直売所に持つて行くことができないなら、消費者に畑に来てもらおう！ついでに畑からの素晴らしい眺望も楽しんでもらおう！と、「天空のお散歩畑」を提案し、システムの一部は今も機能している。

何としても残したい！美しい茶畠景観も壊したくない！との思いから、商品開発を手伝い、輸出の支援を行った。茶畠景観と茶の味を楽しむ「埼玉の旬を喰らう」イベントを開催してきた。

まだまだ端緒を開いたところなので、さして目覚ましい成果は挙げられていないが、学生の柔らかな発想が創り出した商品は浦和アトレの中にあるザ・ガーデンで取り扱っていただいているし、モンゴルへの狭山茶輸出は増え続けている。

今回、改めて調べてみて、手掛けたプロジェクトの多さに驚いたが、それぞれの時代、地域で抱いた想いも一緒に甦ってきた。卒業生の皆さんも、地域に苦しみ、人に悩んだ当時を思い出した懸命だった自分、純粋だった時間をこの機に思い出してはいかがか？少し飽き飽きしてきた「今」への力ancelフル剤になること請け合いである。

さて私は、4月以降、プロジェクトとして取り組んできた狭山茶の輸出や商品化支援をNPOで行っていく予定である。はて、うまくいきますやら・・・。

同窓生から 熊本大地震

立山良知（教養69年卒）

熊本県菊池市在住
2016年3月31日

A photograph of an elderly man with a shaved head and a striped sweater standing in front of a large blue tarp. The tarp covers the side of a white building, which appears to be under construction or renovation. A metal bracket is visible on the building's facade above the tarp. In the background, there are other buildings and some greenery.

立日の13日に偶然、1995年3月17日に起きた阪神淡路大震災に遭遇された体験を持つ病棟の看護師様と当時の恐怖体験を語つていただきましたが、まさか自分達にあの災害が降りかかるつてことは思いもよらませんでした。(私は当時関西にいました)4月14日(木)午後9時

した。

立日の13日に偶然
3年3月17日に起きた阪
神淡路大震災に遭遇された
体験を持つ病棟の看護師様
ご当時の恐怖体験を語つて
いましたが、まさか自分達
にあの災害が降りかかるつ
てことは思いもよりませ
ました。（私は当時関西に居
りました）

16

4月11日(木)午後9時26分震度7の熊本地震が起きました。私は3階病棟にいましたが、突然の突き上げで床が揺れ、同時に地鳴りに続き烈しい揺れに、始めは驚きばかりで

四

4月1日(木)午後9時26分震度7の熊本地震が起きました。私は3階病棟にいましたが、突然の突き上げと地鳴りに続き烈しい揺れに、始めは驚きばかりでした。その後震度7マグニチュード

ハ 搖
ツ れ

26 4月 1日（木）午後9時
分震度7の熊本地震が起
きました。私は3階病棟に
いましたが、突然の突き上
りと地鳴りに続き烈しい揺
れに、始めは驚きばかりで
ての後震度7マグニチュード
の地震と分かり、病室

ベツ

26 4月1日(木)午後9時
分震度7の熊本地震が起
きました。私は3階病棟に
いましたが、突然の突き上
りと地鳴りに続き烈しい搖
れに、始めは驚きばかりで
ての後震度7マグニチュード
6.5の地震と分かり、病室

が
治

4月1日(木)午後9時26分震度7の熊本地震が起きました。私は3階病棟にいましたが、突然の突き上げと地鳴りに続き烈しい揺れに、始めは驚きばかりでした。その後震度7マグニチュード6.5の地震と分かり、病室全員恐怖に慄きました。そ

六三

4月1日(木)午後9時26分震度7の熊本地震が起きました。私は3階病棟にいましたが、突然の突き上げで床と地鳴りに続き烈しい揺れに、始めは驚きばかりでした。その後震度7マグニチュード6.5の地震と分かり、病室全員恐怖に慄きました。その後何回か揺れが間歇的に

三
二

26 4月 1日(木)午後9時
分震度7の熊本地震が起
きました。私は3階病棟に
いましたが、突然の突き上
りと地鳴りに続き烈しい揺
れに、始めは驚きばかりで
その後震度7マグニチュード
6.5の地震と分かり、病室
全員恐怖に慄きました。そ
の後何回か揺れが間歇的に
続きました。

九

4月1日(木)午後9時26分震度7の熊本地震が起きました。私は3階病棟にいましたが、突然の突き上げました。すると地鳴りに続き烈しい揺れに、始めは驚きばかりでした。その後震度7マグニチュード6.5の地震と分かり、病室全員恐怖に慄きました。その後何回か揺れが間歇的に起きました。

機
關

翌15日(木)午後9時26分震度7の熊本地震が起きました。私は3階病棟にいましたが、突然の突き上げと地鳴りに続き烈しい揺れに、始めは驚きばかりでした。その後震度7マグニチュード6.5の地震と分かり、病室全員恐怖に慄きました。その後何回か揺れが間歇的に起きました。

七



で大災害発生が分かりました。病院内も至る所が壊れ、他地域からの地震被害者の緊急受入れが行われ、病院の機能も麻痺寸前で自分のことをあれこれという状況ではありませんでした。4月26日（火）の退院まで10日間は院内エレベーター、食堂が使用不能になり非常事態でした。以降、余震は絶え間なく続き、新聞、テレビ、家族からの情報で熊本県内至る所が大変なことになつていていたのが判明し、入院中の自分としては何もできず、非常に忸怩たる思いでした。

4月26日（火）に退院して初めて我が家のか惨状を見て愕然としました。熊本県では益城町、西原村、御

船町、熊本市などが被害甚大で菊池市は規模的には小さかつたものの、我が家は罹災状況は住居、納屋が半壊判定で復旧工事の対象となりましたが、全県広域の災害とあって工事の進捗は遅々として2017年2月現年も養生状態で生活しております。本年中には何とかしたいと思っております。

4000回を超える地震とそれに伴う死者200名、家屋などの倒壊夥しく、生涯忘ることのできない大惨事となりました。

2016年10月頃までは余震がたびたび起り、その都度テレビ画面で地震の確認をして我が家由来の搖れでないと確認し、安心しましたが夜もなかなか眠れませんでした。

以下、私が入院していた頃の一人で大地震に耐えて自宅に居た妻の話です。4月14日の前震は激しい揺れにもかかわらず、何の被害もなく、台所のテーブルの下で難を逃れました。翌15日の夜は余震が来るとの報道でしたので、布団の横に頑丈な机を置いて寝ました。どうとした途端、ものすごい地鳴りとともに縦に横

にずいぶん長い時間揺さぶられていたように感じました。その時は準備をしていました。机の下に布団ごと潜り込み、搖れが修まつて、懐中電灯をつけると、散乱した家財に愕然としました。「丈夫か？」との夫からの電話、また嫁達から「お母さん！早く外に出て！」との電話を最後にしばらくは何とかしたいと思つております。

4月26日（火）に退院して初めて我が家のか惨状を見て愕然としました。熊本全県では益城町、西原村、御

船町、熊本市などが被害甚大で菊池市は規模的には小さかつたものの、我が家は罹災状況は住居、納屋が半壊判定で復旧工事の対象となりましたが、全県広域の災害とあって工事の進捗は遅々として2017年2月現年も養生状態で生活してあります。本年中には何とかしたいと思っております。

4000回を超える地震とそれに伴う死者200名、家屋などの倒壊夥しく、生涯忘ることのできない大惨事となりました。

2016年10月頃までは余震がたびたび起り、その都度テレビ画面で地震の確認をして我が家由来の搖れでないと確認し、安心しましたが夜もなかなか眠れませんでした。

そういう状況の中で妻は気丈に頑張りました。ご近所の皆様に助けてもらいながら私の退院に向けて取組み始めました。我が家の中の片付けをようやく、心細い思いをしながら急いで外に出る準備をしました。やっとの思いで外に出て見ても遠くの方で懐中電灯の明かりが見えるだけで一人、心細い思いをしながら急いで外に出る準備をしました。やっとの思いで外に出て見ても遠くの方で懐中電灯の明かりが見えるだけでどここの家も真っ暗でした。途方に暮れていったが夜もなかなか眠れませんでした。

以下、私が入院していた頃の一人で大地震に耐えて自宅に居た妻の話です。4月14日の前震は激しい揺れにもかかわらず、何の被害もなく、台所のテーブルの下で難を逃れました。翌15日の夜は余震が来るとの報道でしたので、布団の横に頑丈な机を置いて寝ました。どうとした途端、ものすごい地鳴りとともに縦に横

にずいぶん長い時間揺さぶられていたように感じました。その時は準備をしていました。机の下に布団ごと潜り込み、搖れが修まつて、懐中電灯をつけると、散乱した家財に愕然としました。「お母さん！早く外に出て！」との電話を最後にしばらくは何とかしたいと思つております。

4月26日（火）に退院して初めて我が家のか惨状を見て愕然としました。熊本全県では益城町、西原村、御

船町、熊本市などが被害甚大で菊池市は規模的には小さかつたものの、我が家は罹災状況は住居、納屋が半壊判定で復旧工事の対象となりましたが、全県広域の災害とあって工事の進捗は遅々として2017年2月現年も養生状態で生活してあります。本年中には何とかしたいと思っております。

4000回を超える地震とそれに伴う死者200名、家屋などの倒壊夥しく、生涯忘ることのできない大惨事となりました。

2016年10月頃までは余震がたびたび起り、その都度テレビ画面で地震の確認をして我が家由来の搖れでないと確認し、安心しましたが夜もなかなか眠れませんでした。

避難所生活を経て3日後、やっと自宅に戻ることができました。自宅に戻つてみると、母屋、納屋の白壁が崩れ、家中に入つてみると内壁に亀裂が入り、食器棚、本棚、エアコンなどの家財が倒壊氾濫し、足の踏み場もない状態でただ茫然とするばかりでした。

そういう状況の中で妻は気丈に頑張りました。我が家の中の片付けをようやく、心細い思いをしながら急いで外に出る準備をしました。やっとの思いで外に出て見ても遠くの方で懐中電灯の明かりが見えるだけでどここの家も真っ暗でした。途方に暮れていったが夜もなかなか眠れませんでした。

以下、私が入院していた頃の一人で大地震に耐えて自宅に居た妻の話です。4月14日の前震は激しい揺れにもかかわらず、何の被害もなく、台所のテーブルの下で難を逃れました。翌15日の夜は余震が来るとの報道でしたので、布団の横に頑丈な机を置いて寝ました。どうとした途端、ものすごい地鳴りとともに縦に横



け や き 会

怪我は、たいしたことないと思ったのですが、全身打撲と擦過傷、心的ストレスでその夜ショック状態となり、地元の安ビジネスホテルの一室で熱と震えで何うろうとしていました。

4月1日には、銀行の入行式があります。逆算すると、このままでは間に合わなくなる可能性があり、銀行を取るか、自愛を取るか、厳しい選択となり、私は腹をくくつてフラフラ走り出しました。家に到着したのは3月30日、式の前日でした。

そんなスタートで、ようやくまじめに銀行で働きだし、それなりに出世もし、

そこで4年間と少し、英語と格闘こそしましたが、いわゆるデカイ案件をいくつかこなし、一流と呼ばれる会社の仕事も少し受け、超優秀な方々と呼ばれる人種と話をしながら、今までにない体験を積みました。

その後、わたしはサラリーマンをやめ、農業に転身しました。これはこれでまた大きな転機でした。

実は私は農家ではありません。農家は、農業をやめても農家であります。が、農業をやっても農家になれるわけではありません。

行政の方と、こんな会話を何度かした記憶があります。私は「農業をやりたいので畑を借りたいのです。が?」行政「農業をやったことはあるのか?」私は「畑を借りられれば農業をやります。」行政「農業をやつたことない人に畑は貸せません。農家は、読んで字の

これまででは、地域経済や中小企業のために仕事をしてきたのですが、ある日突然、自分の実力を他で試してはどうか、日本全国、世界で、また超一流企業相手に、仕事がやれるのか、やれないのか、チャレンジしてみたくなつたのです。それが考へると、せつかくなら、現職と関係ない、知り合いがいない企業で、かつ今までの自分の蓄積が生かせるところに挑戦したくなりました。それは、外資系のコンサルティング会社です。

ごとく農を営む家系のことである意味特権です。今では少し緩和しているやに聞いていますが、実際のところ、農家という称号を得ようにも、簡単にはいかず、一般的には、なかなか農家にはなれません。農家は、農業をやめても農家であります。が、農業をやっても農家になれるわけではありません。

行政の方と、こんな会話を何度かした記憶があります。私は「農業をやりたいの



川越市にあるぶっち農園

い」私「畑が借りられない」と農業は出来ない行政「農業機械はあるのか」私「畑を借りられれば機械は買います」行政「機械を持つていいない人に畑は貸せない」……。

そんなこんなでしたが、なんとか機会に恵まれ、行政の支援も受け、農家となりました。

田んぼも2枚借り、大手スリバーに出荷もしながら、悪戦苦闘した充実した数年間でしたが、そこでまた考えもしなかつた転機が訪れました。

ある日、何気ない場所で日本経済新聞を数年ぶりに見たところ、その面白さにびっくりし、隅から隅まで読んでしまいました。農業従事に日経はいらないと解約していたのですが、数年間忘れていた経済や産業・経営への感触が蘇つたのです。

時は既に54歳の年齢に達しており、さてどうするも

ず、大学院に行くことにしました。

修士課程は、もちろん埼玉大学も候補にしましたが、小企業診断士の資格が取得できるところ、越町にある大学院にしました。そこは、平日夜や土日の授業により、社会人だけのグループワークと企業の診断実習から形成された実践的なカリキュラムが特徴です。

埼玉大学を卒業してから約30年後に、再び大学に入つたことは、それはそれで大きな転機で、自分としてもいささかびっくりした決断でした。

しかしながら、本稿の執筆で改めて振り返ってみると、つくづく自分を転機に導くエネルギーは、どこから来るのか不思議です。

決して楽とは言えない道の選択を、なぜ繰り返し、なぜ新しいフィールドに挑戦するのでしょうか。

それはおそらく、高校から大学にかけて形成された自己そのものから出続けているフォースであり、埼玉大学で育成していただいた自主と協調の精神、がある

からです。そして何よりも、同じ埼玉大学卒業生の妻の理解が、エネルギー源となつてゐるからです。再びの大学も、無遅刻無欠席で2年が過ぎ、この春卒業です。

現役生から 自分の居場所

小林愛理（3年）

今回は私の大学生活について書きたいと思う。私が大学生生活で力を入れて取り組んでいることは部活動だ。体育会アメリカンフットボール部に所属し、マネージャーをしている。どうしてアメフト部のマネージャーをするに至ったのかと聞かれることがよくある。根本的なきっかけは高校時代での生活に遡る。私は埼玉県花である桜草の意だ。英語に直すと PRIMROSE であるが、複数形になつてい（アメフトのチーム名）は普通は複数形なので）ということで学部で私が所属する専攻の教授にはこのことを頻繁に指摘される。練習環境や部員数は私立大等の他大学と比べても決して恵まれたものとは言えないが、今ある環境、自分たちが持つてゐるものを見つけてしまった。2部昇格を果たすことことができたのは、現役の頑張りもあるかもしれないが、

大学に入学したら勉強以外にも何か自分で成し遂げたと思えるものを見つけたい、

例え、土のグラウンドは春や夏は放つておくとつという間に草が伸びてしまふ。練習の合間や前

ただなんとなく4年間を過ごすのではなく、何かに向かって頑張る大学生活を過ごしたいと考えていた。埼玉大学に入學し、たまたま勧誘をしてもらい、雰囲気もよく目標に向かってチームで努力をしているアメフト部に惹かれた。高校時代は先のことの心配ばかりして「今」やりたいと思うことを断念してしまった私だったが、ここで意を決して入部したのだ。

埼玉大アメフト部のチーム名はPRIMROSEである。英語に直すと PRIMROSE であるが、複数形になつてい（アメフトのチーム名）は普通は複数形なので）ということで学部で私が所属する専攻の教授にはこのことを頻繁に指摘される。練習環境や部員数は私立大等の他大学と比べても決して恵まれたものとは言えないが、今ある環境、自分たちが持つてゐるものを見つけてしまった。2部昇格を果たすこと

後の一時間、授業の空きコマなどの時間に、部員が草刈機を使って草を刈るなどしている。それでも、一週間に夏合宿から大学に戻つて来て大学のグラウンドを見ると、草がたくさん生えてきているのである。部員一同絶望に陥る。雨が降つたときは池のような水たまりがいくつもできる。練習前にスポンジを使って水抜きをする。このようにして、グラウンドの状態を保ち、環境を最大限に活かしていく。

日々のチームの努力が結

果となつて表れたのは昨年の秋季関東学生リーグ戦である。三部Cブロックで優勝し、昨年十二月半ばに行われた2部3部入替戦で勝利し、2部昇格を果たした。埼玉大アメフト部が2部の舞台に立つのは20年ぶりだ。ここ数年は入替戦への出場権は手にするものの、あと一步のところでおよばなかつた。2部昇格を果たすこと

私は高校時代までを含め今まで受け身で学んできたため、自分から主体的に考え、問題を投げかけ、議論するということが不得意であつた。アメリカ研究での学びは、私にとって新しい学び方ができると感じた。今でこそそのような学び方ができているとは言い切れないと胸を張つて言える。学生同士の仲がとても良く、先生方含め個性的な人ばかりだ。アメリカ研究の研究室にはいつも誰かが座つているといつても過言ではない。

また、私は映画が好きで、アルバイトは映画館スタッ



私たちの上をいくチームばかりであるが、その中で戦い抜いていくために全力で取り組んでいきたい。

ここまで過ごしてきた3年間は、部活動だけの大学生活ではない。教養学部では、ヨーロッパ・アメリカ

け や き 会

フをしている。学部での勉強、部活動、アルバイトを両立させることは決して簡単なこととは言えないし、私自身この3年間それらを両立できていたかというと難しい部分もある。しかし、これらは全て自分で切り開いて見つけた私の居場所であり、それらの活動を通して出会った人との繋がりや経験は今後の自分にとって何よりも大きな糧になると信じている。

宮本あかり（3年）
生活を中心は3つ

と、実力のある先輩方が楽しそうに、でも真剣に競技している姿を見て、まだバドミントンを続けたいといふことを決めていたから、まだ参加して、強い先輩を見てすごいなーと思うことしか出来なかつたのですが、

う思いが出てきて、入ることにしました。1年生の頃は、ただ参加して、強い先輩を見てすごいなーと思うことしか出来なかつたのですが、

2年生になると、代替わりの年ということもあり、サークル全体のこととも考えなければならなくなりました。2年生の人数がそんなに多いわけではないので、みんなが協力して係を決め、運営を行っています。



私は栃木県生まれで、埼玉大学に通うために大学の近くで独り暮らしをしています。そんな私の埼玉での学生生活を占めているものは3つです。

1つは、サークル活動です。私は中学校、高校とずっとバドミントンを続けてきて、大学でもバドミントンサークルに入っています。

「私」が必要と思ってくれている生徒がいることが、とても嬉しいし、ありがたい環境だと感じています。

1人でも、先生としての「私」が必要と思ってくれている生徒を指導するという点でたくさん経験を積めているのはもちろん、イベントを企画したり、大勢の生徒、先生の前で自分の言いたいことを伝えたり、普通に大

学生生活を過ごしてたら経験できないようなことをたくさんすることが出来ています。勉強と、自分の好きなことが重なるのはとても楽しいです。また、教員免許も取得したいと考えてるので、卒業要件に入らない単位も取得しなくてはなりません。それは少し大変ですが、あと2年頑張りたいと思います。

ここまで、私の生活を占めている3つのことを紹介させていただきました。どちらもこれも充実したことばかりです。しかしその分、両立も大変です。特に、冒頭でも説明しましたが、私は独り暮らしをしているので、これらの3つのことをこなしながら自炊、洗濯、掃除など、身の周りのことでもやらなくてはいけません。正直、大学入学当初に描いていたほど、優雅な独り暮らしは送れていません。しかし、妥協しつつも、独り暮らしをすることは出来ています。

また、せっかく埼玉といふう、東京に近い所に住んでいるので、美術館にも友達一人でも行きます。大学生になつて、美術館にたくさん行くようになつてから、もつと大学で学ぶことに興味を持つようになつた気がします。世界遺産検定にも

興味を持ち、何回か受検しています。勉強と、自分の好きなことが重なるのはとても楽しいです。また、教員免許も取得したいと考えてるので、卒業要件に入らない単位も取得しなくてはなりません。それは少し大変ですが、あと2年頑張りたいと思います。

このような生活の経験を大学生ですることが出来てることに感謝して、これが就職して社会人になつた時の財産になると信じて、これからも努力していきた

けやき会総会

2016年けやき会総会を6月25日(土)に北浦和駅前の埼玉県立近代美術館で開催しました。

講演会

午後1時半から94年卒小谷竜介氏(東北歴史博物館学芸員)の講演「東日本大震災で被災した文化遺産を再生する」を市民にも公開して開催しました。

○講演会の概要

小谷氏自身も被災し、震災後、被災した文化財を救済する活動に携わった。獅子舞や神楽面など様々な文化財を救出してきた。地域のつながりを保つためには祭りや郷土芸能などの再開が地域復興の一歩となる。



文化人類学コース 50周年記念会

2016年11月5日(土)埼玉大学で開催

93名が集いました。

第1部は大学会館で

69年卒1期生の関根増男氏の司会で始まりました。

同じ1期生の須藤健一氏(国立民族博物館館長)が開会挨拶があり、同窓生

代表挨拶として2期生の小



埼玉大学フェロー授与式 祝 小松和彦氏 文化功労章受章

1月24日(月)、本学は、

平成2016年度文化功労者に選出された妖怪研究の

第一人者小松和彦先生(1

970年教養学部卒)

卒業生・修了生で特に文化

や学術の各界で顕著に優れた業績又は功労を挙げた方

に与えられる「埼玉大学フ

エロー」の称号を贈りました。

松和彦氏(日本文化センタ一所長)の話がありました。

次に文化人類学コース創設時の川田順造先生(文化功労章受賞者)、加藤泰健先生の歴代先生の思い出を語っていました。長島信弘先生のメッセージが読まれた

後、残念ながら亡くなられた友枝啓泰先生や阿部年晴先生(体調が悪く欠席され、しばらくして同じ月に亡くなられた)など50年の歴史をスライドを見ながら各代の思い出を振り返りました。

現役の三浦敦先生が現在のなられた)など50年の歴史をスライドを見ながら各代の思い出を振り返りました。

2次会は北浦和駅前の笑笑でいくつかのブロックに分かれて、まだ尽きぬ話で盛り上りました。

2次会は北浦和駅前の笑笑でいくつかのブロックに分かれて、まだ尽きぬ話で盛り上りました。

文化人類学コースの現状の説明がありました。

その後大学会館前の階段で集合写真を撮って、第2

部は会場を第2食堂に移して、立食パーティーになりました。

1期生の渡邊欣雄氏(首都大学東京名誉教授)の乾杯の後、和気あいあいの懇談に移り、4期生の峰崎進氏の司会で次々に参加者の思い出話を挟んで終わ

りました。

2次会は北浦和駅前の笑笑でいくつかのブロックに分かれて、まだ尽きぬ話で盛り上りました。

究はしていかなかったかもしれません。」と笑顔で語り、最後に「チャンスを見つけて自分の道を切り開き、社会で活躍してほしい。」と学生に期待を寄せました。

埼大に来なかつたら今の研究はしていかなかったかもしれません。式の後の講演では、小松先生は本学で学んだ日々を振り返り、「高校では知らなかつたいろいろな学問があり、興味をもつたことは何でも学べる場所に来られ、知的な刺激を受けた。



2017年2月5日、上野公園内の韻松亭において、2期生の有志が主催して小松和彦氏（2期生）の文化功労章受章を祝う会があつた。恩師の川田順造先生も招待され、文化人類学仲間の中牧弘允氏（前国立民族

功労章受章を祝う会

2017年2月5日、上

2期生で小松君の文化

れません。」と笑顔で語り、最後に「チャンスを見つけて自分の道を切り開き、社会で活躍してほしい。」と学生に期待を寄せました。

博物館教授）が祝辞を述べた。集まつた十数人が全員話すことになつたが、小松氏の受章祝辞を述べるかと思ひきや、大学紛争があつた当時の勇ましい若い頃の話で盛り上がつっていた。

思いきや、大学紛争があつた当時の勇ましい若い頃の話で盛り上がつっていた。

教養学部同窓会 進路相談会

全ての埼大生が参加可能！！
全学部全学科対象、大学院生もOK。途中参加大歓迎。

ES添削、模擬面接、グループワーク
社会人の視点から就活を完全サポート。

主な内定先：大手総合商社、大手自動車会社、クボタ、ヤマト運輸、JTB、セイコーホーム、オートリフ、フジクラ、住友重機械、ティ・エスティック、江崎グリコ、ニュージェック、日本政策金融公庫、国立文化財機構、海洋研究開発機構、さいたま市、東京都港区など

日時：1月21日（土）14:00～16:20

場所：教養学部3階 33番教室



参加費：完全無料！

講師：石澤 和也
(株)クボタ勤務
埼玉大学2010年卒業
慶應大学大学院修了

下記にて、無料のES添削＆就活相談を受付中！

kazuya.ishizawa@kubota.com

石澤進路相談

主な講座内容は、①就活上の明確な指針を説明②エントリー・シートの添削③石澤講師や参加社会人（けやき会会長も参加する時も）が面接官となり、面接練習を複数回実施である。

が参加でき、人事担当の経験を活かして就活をサポートしている。

この会の中心講師である石澤和也氏は教養学部を2010年卒業し、慶應大学大学院修了の後、現在（株）クボタに勤務している。月1回程度土曜日に教養学部の教室で、進路相談を行つ

ている。全ての埼玉大学生が参加でき、人事担当の経験を活かして就活をサポートしている。

この講座の基本方針は①広い業界から、志望業界を最大2つに絞る②受験企業は最大15社、ただし、全ての会社から内々定を取るよう徹底的に対策する③なぜ自分を採用すべきか、同業他社でなくなぜその会社を志望するのか、明確化する。

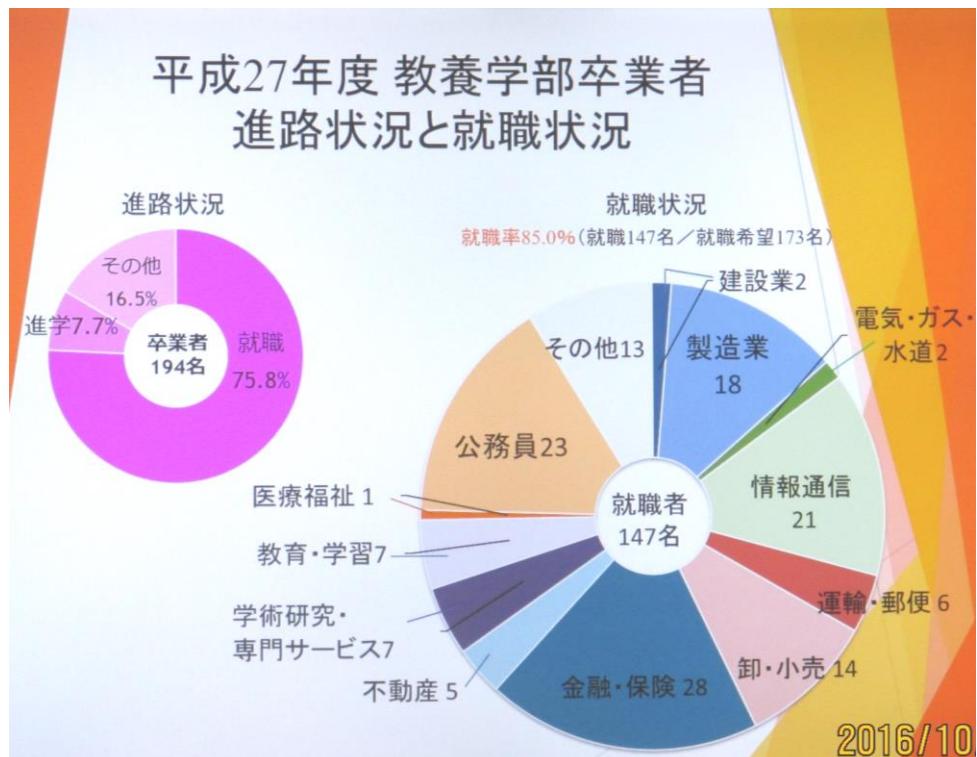
けやき会の寄付講座名は「経済事情」で、内容は「グローバル時代のキャリア形成」です。この講座は全学部の学生が対象ですが、教養学部と経済学部の学生が多い。卒業生である講師陣は昨年とほぼ同じで、民間会社や公務員・教員として世界を相手に活躍している。したがつて貴重な経験とどのようにキャリアを積んでいったのかをスライドなどを見せながら語っていた。学生時代の過ごし方にもアドバイスし、激励していた。

寄附講座 けやき会

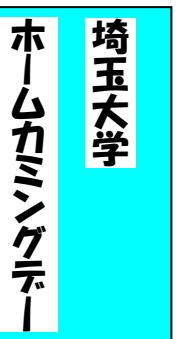


石澤講師

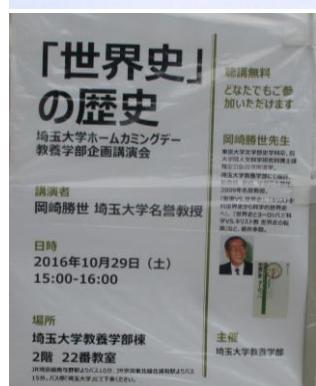
2016/12/02 13:59



2016年10月29日埼玉大学のホームカミングデーが開催されました。午後1時～午後2時まで歓迎会で学長挨拶、山本利一教育



その後、各学部のさまざまなイベントに向かうことになる。教養学部は、保護者会があり、男女1名ずつ現役学生が大学生活の様子を語り、先生から左図のように教養学部の進路状況などの説明があった。午後3時からは岡崎勝世名



歴史」という講演がありました。午後4時からは第2食堂で卒業生全員集まって埼玉大学同窓会会長の大西利樹の乾杯で交流会が始まりました。飲食をしながら歓談し、その間に学生サークル活動の紹介のJAZZと邦楽演奏があった。

2017年度
卒業生のための
ホームカミングデー
10月14日(土)
②懇親会
他の学部の卒業生とも交流できる貴重な機会なので、ぜひ参加しよう！



①講演会やっと実現!
ノーベル物理学賞受賞者
梶田隆章先生

2017年度教養学部入学案内のデータより

卒業生の就職・進学先 (2011年度~2015年度)

卒業年度	2011	2012	2013	2014	2015
卒業者数	200	197	196	198	194
()女子内数	(133)	(139)	(133)	(120)	(118)
就職希望者数	171	166	170	177	173
()女子内数	(113)	(118)	(118)	(111)	(104)
就職者数	142	140	142	158	147
()女子内数	(93)	(101)	(98)	(99)	(90)

業種内訳 ()女子内数

	2011	2012	2013	2014	2015
農林水産	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
建設	4 (3)	1 (1)	4 (2)	4 (2)	2 (1)
製造	16 (8)	17 (12)	19 (13)	19 (16)	18 (9)
電気・ガス・エネルギー・水道	2 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	2 (2)
運輸・通信	19 (7)	25 (19)	15 (12)	33 (19)	27 (12)
飲食・卸売・小売	15 (11)	19 (12)	22 (16)	21 (13)	14 (13)
金融・保険	17 (15)	20 (12)	13 (8)	24 (19)	28 (22)
不動産	2 (2)	6 (4)	1 (1)	3 (2)	5 (4)
サービス	24 (19)	32 (25)	31 (22)	20 (12)	20 (13)
教育	13 (11)	5 (2)	7 (6)	11 (5)	7 (3)
公務	27 (14)	14 (13)	26 (16)	21 (10)	23 (10)
その他	2 (2)	1 (1)	4 (2)	2 (2)	1 (1)
大学院進学	11 (7)	14 (2)	14 (2)	6 (2)	15 (10)

出身校の所在地別入学者数

国・地域	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
北海道	2	6	5	5	1
東北	35	38	36	42	35
関東	88	79	73	79	99
(うち埼玉)	(31)	(40)	(42)	(30)	(43)
中部・近畿	30	24	34	23	32
中国・四国	5	10	7	4	6
九州・沖縄	5	7	10	11	6
その他(外国・検定等)	7	12	5	12	11
合計	172	176	170	176	190

主な就職先

2015年度

建設・製造	クシダ工業(株)、(株)ミライト・テクロジーズ、㈱武藏野、ローマイア(株)、(株)齊藤堂、田中製鐵(株)、片倉工業(株)、片倉工業(株)、(株)ディーエムエス、岩岡印刷工業(株)、(株)潤工社、(株)朝日ラバー、協友アグリ(株)、(株)アステラス製薬、コベルコ建機㈱、三井精機工業(株)、(株)川内製作所、(株)加藤製作所、東京航空計器、日本トーカンパッケージ
宿泊・飲食・卸売・小売	(株)Globridge、米国三越、(株)ドトールコーヒー、(株)板垣、(株)大和、(株)タカゾ、新明電村(株)、(株)ソーヴィツ、(株)フレッセイ、アイアコーポレーション、大学生協東京事業連合、ファーストリテイリング、クリエイティブ・ティー、(株)ロコンド、(株)JINS、(株)パル、(株)東京玉子本舗
運輸	(株)三協、ANAテレマート、ANA関西空港、NAAリティリング、全日本空輸(株)、日本郵便(株)
通信・マスコミ	(株)ワースクアリケーションズ、トークノート(株)、(株)レジンド・アプリケーションズ、パリューアークコンサルティング(株)、日本アイ・ビー・エム・サービス(株)、(株)Hayakawa、日販コンピュータクロジ(株)、(株)インチリジエントテクロジー、(株)NTTデータSMS、AGS(株)、スマセイ情報システム(株)、東日本電信電話(株)、(株)光通信、(株)テレビ信州、日本郵便(株)、(株)リクルート北関東マーケティング、LINE(株)、(株)カラフルカンパニー、(株)プラスティー、Salesforce.com、(株)インフォバーン
金融・保険	松本信用金庫、日本郵便(株)、りそなホールディングス、(株)ジャックス、(株)清水銀行、(株)秋田銀行、りそなホールディングス、(株)足利銀行、(株)北越銀行、七十七銀行、三菱UFJニコス(株)、(株)エムアイカード、りそなホールディングス、(株)常陽銀行、(株)八十二銀行、石巻信用金庫、(株)常陽銀行、(株)みずほ銀行、三井住友カード(株)、(株)日本郵便、三井住友銀行、八十二銀行、住友生命相互保険会社、野村証券(株)、第一生命保険、損保ジャパン日本興亜、三井生命保険(株)、日本生命相互会社
教育・学習支援業	栃木県高等学校、大妻嵐山高等学校、学校法人小山学園、独立行政法人国立長野工業高等専門学校、学究社、(株)アカデミー、(株)ティルウインド
その他・サービス	(株)環境コンサルタント、(株)フラッグ、(株)メディサイエンスプランニング、(株)メディックス、博報堂DYインター・ソリューションズ、(株)翻訳センター、Jフロンティア、クラツツリーズム(株)、(株)ベースオントップ、(株)サイバーエージェント、ロングランプランニング(株)、(株)匯人社、埼玉県農業組合連合会、ソニーミュージックグループ、JFEシステム、金日書店(株)、国風健康保険団体連合会、(株)蘇木燃料店、(株)スマートテック、(株)三菱地所リアルエステートサービス、(株)OPA、(株)長谷エアーベスト、スターシヨーポレーション、(株)ミニミニ
公務	二セコ町役場、北茨城市役所、江戸川区役所、埼玉県庁、宇都宮市役所、品川区役所、練馬区役所、栃木県庁、埼玉県小中学校事務、栃木県小中学校事務、栃木県庁、鶴子市役所、佐野市役所、郡山市役所、特別区、静岡県庁、佐野市役所、埼玉県小中学校事務、坂戸市役所、川越市役所、芳賀町役場、今治市役所、福島県庁

2016年度 入学者選抜実施状況

定員	日程	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	追加合格者数	入学者数
160	前期	125 ※21	443 ※15	420 ※4	167 ※4	0 ※0	150 ※4
	後期	35 ▲14 ○6	157 ▲13 ○5	71 ▲5 ○2	35 ▲5 ○2	0 ▲0 ○0	29 ▲5 ○2

※留学生 ▲帰国子女 ○海外留学

その他のデータ

教養学部卒業生累計数(2016.3.31)	7197人
教養学部2015年度留学生数(半年以上)	32人

埼玉大学基金 ぐる協力を!

平成25年に設立いたしました埼玉大学基金は、皆様からのご理解ご支援を賜り、その目的の一つである「埼玉大学インターナショナルレジデンス（国際学生寮）」の整備について、創立70周年を迎える平成31年10月の完成を目指して準備を進めている状況です。

さらに、埼玉大学基金内に新たに「埼玉大学修学サポート基金」を設立し、経済的な理由により修学に困難がある学生に対する支援を行うこととしました。

詳細はホームページをご覧いただければ幸いです。

同窓生の皆様からのご理解ご支援をいただけますよう、心よりお願い申し上げます。

インターネット検索

- 埼玉大学基金
- お問い合わせ先
- 〔埼玉大学基金室（広報室
外室内）〕
- 電話 048-858-9330
- Eメール s-kikin@gr.saitama-u.ac.jp

埼玉大学基金 ぐる古本募金

埼玉大学古本募金は、古本（DVDも）を送つていただき、その査定額を埼玉大学基金に寄付する取り組み。5点以上は送料無料です。詳しくはインターネット検索「埼玉大学 古本募金」を見てください。または0120-29-7000に電話して埼玉大学に寄付したいと伝える。運営協賛会社は+358-0053 入間市仏子916 嵐山野株式会社 電話04-2931-3000

部長挨拶の後、けやき会から研究教育支援費を贈呈された。伊藤博明先生の乾杯で歓談になり、学士の卒業証授与が行われ、途中、景品が当たるビンゴ大会を今回初めてあって、記念撮影をして午後5時ごろ終了した。

教員の異動

- | | |
|-----------|-------------|
| 高木英至先生→退職 | 小川敏栄先生→退職 |
| 梶島邦江先生→退職 | 永田雅啓先生→退職 |
| 仁科弘之先生→退職 | 伊藤博明先生→専修大学 |

二回窓会への補助金

10名程（8名以上でも可）同窓生の集まりに、けやき会より1万円補助します。2016年度は文化人類学50周年と2期生の小松和彦氏の文化功労章受章を祝う会の2つの申請しかありません。もつと、同期

けやき会役員募集

生や先生を囲む会とか企画して補助金を申請してください。

ミニ同窓会補助金申請	
会の名称 代表者	
氏名	
卒年	
郵便番号	
住所	
電話番号	
メールアドレス	
実施日	
開催場所	
出席人数	
振込先	
会の様子 や写真	



発行者
埼玉大学けやき会

（埼玉大学文理学部文学科・
人文科、教養学部、文化科学
研究科 同窓会）

会長 棚木誠
編集 関根増男
埼玉大学けやき会事務局
TEL 358-8570

さいたま市桜区下大久保255
埼玉大学教養学部内
メールアドレスは
info@keyakikai.net

埼玉大学同窓会事務局
電話 : 048-858-9218

dousou@mail.saitama-u.ac.jp